



JA葬祭 通信

地域とともに、ゆたかな暮らしのお手伝い

2023.1月発行 第23号

発行 / 福島県JA葬祭事業連絡協議会
編集 / ㈱JAライフクリエイト福島 生活事業部 催事課
〒963-0725 郡山市田村町金屋字下夕川原76番1
TEL024 (942) 5078
ホームページ <http://www.jalcf.jp/services/kurashi/>
お客様相談窓口 ☎024 (942) 5078
(ご意見・ご質問)

Contents

- イベント情報
- 福島県JA葬祭事業連絡協議会 統一布張棺紹介
- 令和4年度葬祭事業の取り組み
- 葬儀文化と豆知識

(株)JA会津よつば総合サービス3周年記念感謝祭並びに、 第21回 県下統一事前相談会開催

日頃よりご利用いただいている組合員・地域の方々に「感謝」と「まごころ」を込めたイベントを開催いたしました。

JAまごころ斎苑豊川



販売コーナー及び
縁日コーナー設置
多くのお客様に来て
いただきました。



人形供養祭、その他返礼品ギフト
展示会、アルテマイスター仏
具説明、生前遺影写真受付など
のイベントを同時開催。

みどり葬斎会館坂下



田島やすらぎ斎苑



人形供養祭、返礼品ギフト
展示会を同時開催。



人形供養祭、その他返礼品ギフト展示会、
仏壇リフォーム相談会、手詰め販売会な
どのイベントを同時開催。

第21回県下統一事前相談会裏面に続く

その他県下統一事前相談会会場

第21回県下統一事前相談会、人形供養祭を開催



JA夢みなみ
玉川斎場



JA夢みなみ
まごころ斎苑

(株)JAふくしま未来サービス
JAホールやすらぎ



(株)JAサービス夢みなみ
あいりすホール須賀川



(株)JA福島さくら協同サービス
JAやすらぎ

(11月5日開催)



(株)JA福島さくら
協同サービス
ラポール錦



(株)JA福島さくら協同サービス
JA郡山東斎場

(株)やすらぎの杜
棚倉斎場



(株)JAふくしま未来サービス
やすらぎ会館原町

福島県JA葬祭事業連絡協議会 統一布張棺紹介

JA葬祭事業連絡協議会で統一したお棺の取組を始めました。

色はホワイトとピンクをご用意しており、白鳳柄といわれる鳳凰の羽をイメージした布生地を採用しております。

また、お棺の上部には大窓を取り付けており、お別れの時まで故人様のお顔を拝見することができます。



令和4年度

JA葬祭事業の取り組み

JA葬祭としての資質向上対策

研修会

JA葬祭はご利用の皆様からのご要望に応えるために、各JA・会社の職員・社員の葬儀知識及び、技術向上のため、研修会を開催しました。葬祭業務専門講習会（葬儀受付・葬儀司会・JA葬祭女性部・グリーンサポート）を実施し、皆様が安心して葬儀を執り行うことができるよう取り組んでおります。



9月2日開催
葬儀受付研修会



9月20日開催
葬儀司会研修会



10月19日開催
第2回JA葬祭女性部



11月10日開催
グリーンサポート研修会

コンテスト



令和4年7月19日(火)、(株)JAふくしま未来サービス JA斎場あだたらにて3年ぶりとなる第12回福島県JA葬祭斎場スタッフ接遇コンテストを開催しました。県内各地区のJA斎場スタッフ計7チームが参加し、葬儀一連の流れをチーム対抗の競技形式で執り行いました。(株)JA福島さくら協同サービス 郡山支社チームが最優秀賞を獲得しました。

令和4年10月7日には(株)JA福島さくら協同サービス JA郡山東斎場にて今年で5回目となるJA葬祭葬儀受付コンテストを開催しました。

コロナの影響で実に4年ぶりとなるコンテストは、葬儀の受付を模擬形式で5名の担当者が執り行いました。

各JA・会社から5名の担当者が参加し、(株)JA福島さくら協同サービス たむら支社 南部氏が最優秀賞を獲得しました。



『葬儀文化』

葬儀の原点は、①故人の尊厳を守る事と、②ご遺族の悲しみ(グリーフ)を大切にすることの2点です。この2つのために葬儀はあり、この2つが軽んじられるものは葬儀ではないと言えるでしょう。

葬儀文化は、長い歴史を通じて地域の人々が培ってきたものですから、その精神を大切にすることが必要です。葬儀には長く多くの人々が育ててきた知識で溢れています。過去の残存物だと切り捨てるのではなく、そこに込められた意味を学ぶ必要があります。



確かに文化はそのときどきの歴史や時代を反映していますから中には現在に合わなくなってしまったものもあり、全てをそのままの形で継承する必要はありません。しかし、その文化がなぜ、どのようにして形成されてきたかに思いいたすことにより、長く続いた風習、儀礼、文化から人々が何を大切にしていたかを学ぶことができます。

それと同時に、葬儀が形骸化してしまわないように、葬儀の意味を常に再確認しつつ、その時代と人に合った適切な葬儀を営むよう努める必要もあるでしょう。

最近では「家族葬」「直葬」「ワンデー葬儀」「無宗教葬」などが、主流となってきましたが、残されたご遺族・ご友人の方々の故人への思いを大切に、皆さんで温かくお見送りする葬儀が「よい葬儀だった」と言われるのではないのでしょうか。

参考文献:「葬儀概論」 碑文谷 創著

春彼岸について

・お彼岸の期間

春のお彼岸は「春分の日」を中日として前後3日間。この計7日間が「お彼岸」の期間とされています。春分の日は3月21日(火・祝)ですから、令和5年のお彼岸は3月18日(土)から3月24日(金)までの7日間という日程になります。

・お彼岸の由来

彼岸という言葉は、古代インドのサンスクリット語の「パーラミター(波羅密多)」を漢訳したもので「到彼岸」の略で、私たちが生きている煩悩に満ちた俗世間(比岸)から涅槃(ねはん)の世界(彼岸)にいたるという意味。春分、秋分のこの時期に彼岸法要を行うのは、太陽が阿弥陀如来の浄土(極楽浄土)の方角にある真西に沈むので、西方に沈む太陽を礼拝し、遙か彼方の極楽浄土に思いをはせたのが彼岸の始まりです。

・お彼岸の過ごし方

彼岸にはお墓の手入れをし、家族でお墓参りに行きたいものですが、雪の深い地方では雪が残っておりお墓に行けない地域もあります。そのような地方では自宅祭壇を丹念に手入れをして家族で礼拝しましょう。

葬儀の豆知識



詳しくはお近くのJAにご相談ください。

県内JA葬祭窓口に関しては(株)JAライフクリエイト福島HPをご覧ください。

<http://jalcf.jp/services/kurashi/>

JAライフクリエイト福島

検索 

